

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 21-005

PDCA	事務事業名	感染症予防事業	部課等名	健康子ども部 保健センター 健康担当	担当 内線等	市野 84-0646	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節： 第3節 健康増進と医療体制の充実 基本施策： 1. 健康づくり 単位施策： (3) 疾病予防・感染症に対する取り組み 個別施策： ②感染症予防・対策の推進					
	根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律					
	対象・目的	15歳以上の市民を対象に胸部レントゲン撮影を行い、結核検査を実施する。 これは、結核の蔓延予防を目的とする。 39歳以下の市民には、尿検査・血圧・血液検査などの健康診査を追加で実施する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	半田市医師会に委託し、市内公民館等16か所で15歳以上の人を対象に胸部X線検査等を実施。啓発については、市報、回覧板、ホームページ等を実施記事を掲載する。 また、35歳から39歳の国民健康保険加入者に対して個別受診勧奨を行い、結核定期健診(住民健康診断)の受診を促す。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①定期健康診断の実施回数	16	16	16	回	
		②					
		③					
			事業費	7,618	7,250	6,557	千円
		人件費	3,744	3,426	2,498	千円	
		総事業費	11,362	10,676	9,055	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
		①健診1人あたりのコスト	3.36	3.43	3.22	千円	
		②					
	③						
成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位		
	①結核による死亡者数	実績値	3	1	1	人	
		目標値	—	0	0		
	②結核の新規登録患者(菌陽性患者)数	実績値	8	9	9	人	
		目標値	—	0	5		
③	実績値						
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない	
事業の評価・課題	<b>B</b> 定期の健康診断を実施し、感染症の発生・まん延を予防した。併せて、その他の胸部疾患の発見に努めることができた。 また、35歳～39歳の国民健康保険加入者(961人)に個別勧奨を実施した結果、84人の新規受診があった。 ①肺がん検診(健康増進法)自己負担500円②住民健診(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)自己負担0円。2つの検(健)診による胸部X線検査は、同じ内容の検査であるが、準拠する法律の違いから自己負担金の有無に違いがある。 平成30年度より、肺がん検診を特定健診と同時に実施できるよう環境を整えた結果、肺がん検診と住民健診の両方を受診する人が増え(H29 43件、H30 88件)、矛盾を感じて問合せする人が増えた。						
A 課題解決のための	今後の事業の方向性	<b>改善推進</b> 住民に理解しやすい制度にするため、早急に2つの検(健)診を一本化する必要がある。 一本化の早期実現のため、関係機関と調整していく。					
	令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①65歳以上国保加入者受診率	9.50	%			
	②39歳以下国保加入者受診率	4.65	%				